

## 分科会研究提案概要

第57回愛媛県公立小中学校事務研究大会分科会について

分科会担当支部	<b>第1分科会 西条</b>		
研究責任者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">学校名 西条市立東予東中学校</td> <td style="width: 50%; border: none;">氏名 越智 和江</td> </tr> </table>	学校名 西条市立東予東中学校	氏名 越智 和江
学校名 西条市立東予東中学校	氏名 越智 和江		
研究のねらい	<p>教員の多忙化が指摘され、改善策が「愛媛県教職員業務改善方針」でも策定されている。同様に事務職員も業務の複雑多様化や人員不足等により多忙を極めている。このような中、学校に関わる多くの人々に有効な業務改善を身近な問題から取り組んでいく。</p>		
研究の仮説	<p>学校事務の分野から様々な業務改善に取り組み、事務処理体制を強化することで、各学校へ標準的で安定した事務機能が提供できると考えた。</p>		
研究主題 (サブテーマ)	<p>OneTeamで業務改善に挑む！ ～Try it first まずはやってみよう～</p>		
<p>1 研究主題設定の理由(研究のねらい・研究の仮説との関係)</p> <p>西条支部では、毎年度末に学校事務に関するアンケートを管理職(校長・教頭)に実施し、事務職員に求められている業務を洗い出し、検証している。管理職の意見をもとにした実践が下記の①～③、事務職員からの提案型で始動したのが④の実践となっている。</p> <p>①～③は管理職の評価が高いため継続実践されており、④については、学校だけでなく保護者にとってメリットのある方法は何かを念頭に検討を重ね実践に至った。</p> <p>学校に関わる多くの人々がOneTeamとなり、学校事務をツールとした業務改善を実践することでTeam全体が抱える課題解決に向けて取り組んでいく。</p>			
<p>2 研究推進状況・提案内容</p> <p>○研究推進状況 学校事務の分野から学校教育を支えるためには、各学校への標準的で安定した事務機能を提供する必要がある。そのためには、以前より抱えている西条支部の課題を改善していく必要があり、その手段として下記実践を行い、管理職アンケート等の評価をとおして課題解決できるよう研究を推進している。</p> <p>○提案内容(実践内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①市内統一の引き継ぎ書の活用</li> <li>②若年教職員対象の事務研修会の開催</li> <li>③出前授業のオンデマンド配信</li> <li>④特別支援教育就学奨励費の定額支給化</li> </ul>			